

平成31年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（音楽）

| | | | |
|------|--|----|--|
| 受験番号 | | 氏名 | |
|------|--|----|--|

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから4ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

※ 1、2は音楽を聴いて答える問題です。

- 1 これから聴く4つの曲名、作曲者名をそれぞれ書きなさい。
- 2 これから聴く旋律を解答用紙の楽譜に書きなさい。なお、調、拍子、小節数は以下のとおりである。

a - m o l l (イ短調)、四分の四拍子、8小節

- ・調号、拍子記号は自分で書くこと。
 - ・旋律は、8小節を通して、全部で4回繰り返す。
 - ・曲間は、10秒とする。
- 3 第1学年において、「さくらさくら」を教材に、箏を用いて「表現（器楽）」の学習を行った。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 箏を用いるに当たり、使用する爪の形によって構え方が変わることが指導する際の留意点を具体的に書きなさい。

(2) 一の糸（弦）をホ音にした平調子で調弦して演奏する。A～Dのそれぞれの音を弾く糸（弦）を漢字で書きなさい。

(3) Dの音について、次の①、②の問いに答えなさい。

① 弾くときに用いる奏法を書きなさい。

② ①の奏法を指導する際、どのように説明するか具体的に書きなさい。

4 第3学年において、「花」を教材に、「表現(歌唱)」の学習を行った。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) この曲の調性を日本語で書きなさい。

(2) 作曲者の他の共通教材を書きなさい。

(3) A、Bについて、次の①、②の問いに答えなさい。

① 「みずや」の意味を書きなさい。

② 音楽表現を通して、生徒が音の高さと強弱との関連を実感するための手立てを具体的に書きなさい。

(4) Cの部分を正しいリズムで歌えていない生徒がいた。楽譜どおりに歌えるようにするための手立てを具体的に書きなさい。

5 第2学年において、「交響曲第5番ハ短調」第1楽章（ベートーヴェン作曲）を教材に、「鑑賞」の学習を行った。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 作曲者の生まれた現在の国名を書きなさい。また、作曲者が生まれた頃、日本は何時代だったか書きなさい。

(2) Aの音楽用語の意味を書きなさい。

(3) B、Cは、この曲の動機である。動機について簡潔に説明しなさい。

(4) 動機を基に曲が構成されていることを理解して聴くための手立てとして楽譜を活用したい。その具体的な活用法を書きなさい。

6 第2学年において、下に示した和音進行を基に旋律を創作する、「表現（創作）」の学習を行った。後の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 題材の導入で、「カノン」(パッヘルベル作曲)を鑑賞させた。その意図を書きなさい。

(2) 和音の構成音を用いて旋律を創作するよさを書きなさい。

(3) 和音の構成音を基に生徒が次のような旋律を創作したが、「変化があまり感じられず、面白くない。」という意見が出された。このことについて、後の①、②の問いに答えなさい。

① 意見を基に、上の旋律を手直しすることにした。どのように手直しすればよいか、具体的に書きなさい。

② 上の旋律を手直ししたものを教師が例示することにした。例示する旋律をつくりなさい。

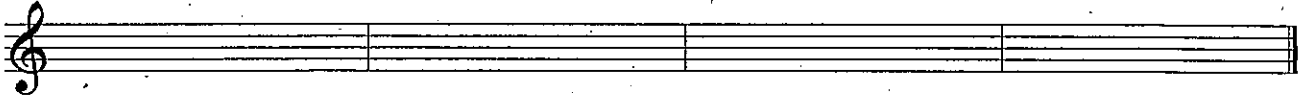
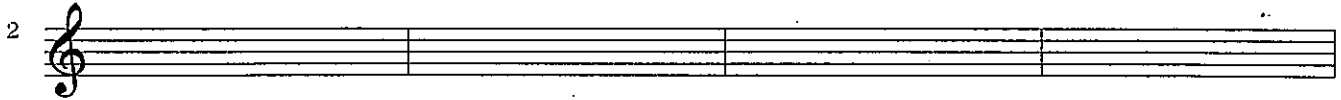
(4) 完成した個々の作品を生かし、グループで一つの音楽を創作することにした。その際、どのような活動が考えられるか、具体的に書きなさい。

| | | | | | |
|-------------|-----------|---------|--|-----|--|
| 音 楽 解 答 用 紙 | 2 枚 中 の 1 | 受 験 番 号 | | 氏 名 | |
|-------------|-----------|---------|--|-----|--|

(31年)

1

| | 曲 名 | 作 曲 者 名 |
|-------|-----|---------|
| 1 曲 目 | | |
| 2 曲 目 | | |
| 3 曲 目 | | |
| 4 曲 目 | | |



3

| | | | | | | | | |
|-----|---|--|---|--|---|--|---|--|
| (1) | | | | | | | | |
| (2) | A | | B | | C | | D | |
| (3) | ① | | | | | | | |
| | ② | | | | | | | |

| | | | | | |
|-------------|-----------|---------|--|-----|--|
| 音 楽 解 答 用 紙 | 2 枚 中 の 2 | 受 験 番 号 | | 氏 名 | |
|-------------|-----------|---------|--|-----|--|

(3 1 年)


4

| | | | |
|-----|---|-----|--|
| (1) | | (2) | |
| (3) | ① | | |
| | ② | | |
| (4) | | | |

5

| | | | | | | |
|-----|-----|--|-----|--|-----|--|
| (1) | 国 名 | | 時 代 | | (2) | |
| (3) | | | | | | |
| (4) | | | | | | |

6

| | | | |
|-----|---|--|--|
| (1) | | | |
| (2) | | | |
| (3) | ① | | |
| | ② |  | |
| (4) | | | |

以下はあくまでも解答の一例です。

| | | | |
|---------|-------|------|----|
| 音楽 解答用紙 | 2枚中の1 | 受験番号 | 氏名 |
|---------|-------|------|----|

(31年)

※16点

1

| | 曲名 | 作曲者名 |
|-----|-------------------|---------------|
| 1曲目 | 展覧会の絵 2点 | ムソルグスキー 2点 |
| 2曲目 | アイーダ 2点 | ヴェルディ 2点 |
| 3曲目 | 魔王 2点 | シューベルト 2点 |
| 4曲目 | ノヴェンバーステップス 2点 | 武満 徹 2点 |

2

※10点



3

※19点

| | | | | | | | | |
|-----|--|---|---|---------|---|---------|---|----------|
| (1) | 丸爪を使用するときは箏に対して膝を正面に、角爪を使用するときは箏に対して膝を斜め左向きに構え、正しい姿勢を身に付けられるようにする。 | | | | | | | など 4点 |
| (2) | A | 九 2点 | B | 四 2点 | C | 為 2点 | D | 巾 2点 |
| (3) | ① | 押し手 3点 | | | | | | |
| | ② | 左手で糸(弦)を押して音の高さを上げる奏法を押し手といいます。柱の左側を人差し指と中指で押します。 | | | | | | |

